

図書館便り

新着図書案内



今宮高校図書館 2011. 7. 8

まんがクラスメイトは外国人 明石書店 334

日本社会のマイノリティである、さまざまな国や地域にルーツを持つ子どもたちは、差別や困難な状況とたたかわざるをえない状況に置かれている。彼らの背景と現状と課題を、まんがを通して考える。

やりたい仕事がある! 池上 彰編著 小学館 366

アート、ネイチャー、サイエンスなど768の職業をジャンル別に丁寧に紹介。自分の適性・適職が分かるエニアグラム、職業の資格・試験に関する問い合わせ先を掲載し、先輩従事者38人からのお役立ちアドバイスも収録する。

日本人の住まい 宮本 常一著 農山漁村文化協会 383

日本人の住まいのかたちは、各地の暮らし方や生産のあり方、家族のかたちの変遷とどのように結びついてきたのか。広範なフィールドワークの見聞と体験を通して、日本の民家を庶民の「生きる場」という視点から捉えた民家論。

わかる!使える!労働基準法 布施直春著 PHP研究所 366

仕事のすべては、労働基準法によってきちんとルールが決められている。働く人の疑問やイザというときに守ってくれる知識を、身近な事例でやさしく解説する。

働かないアリに意義がある 長谷川 英祐著 メディアファクトリー 481

働きアリの7割は休んでいて、1割は一生働かない。しかし、働かないアリがいるからこそ、組織は存続できるという。これらの事実を発見した生物学者が、社会性昆虫に関する最新の研究成果を、人間社会に例えながら解説する。

原発と次世代エネルギーの未来がわかる本 漆原次郎 洋泉社 501

未来のエネルギーはどうあるべきか。岐路にたつ原子力発電の現状を紹介し、次世代エネルギーのしくみ、業界、政策、そして未来をわかりやすく解説する。

やめたら、お家スッキリ! 佐光 紀子著 大和出版 590

ゴム手袋、炊飯器、トイレマット、雑巾、布団干し、大掃除、まとめ買い、夜型生活…。「いやなこと」「できないこと」を手放して、居心地のよいシンプルライフを手に入れる70のヒントを紹介。今日は、何をやめてみる?

昭和の家事 小泉 和子著 河出書房新社 590

洗い張りをする、洗濯板で洗う、布団をつくる、浴衣を縫う、おはぎをつくる、たくあんを漬ける、おせち料理をつくる…。昭和戦前の主婦たちがごく当たり前に行っていた「家事」を写真で丁寧に紹介する。

まさか?のへんな立体 杉原厚吉著 誠文堂新光舎 754

反対方向を向いた複数のすべり台の全てに対して反重力モーションが生じる立体や、自分の目の位置を動かすと不可能モーションが生じる立体などの展開図を収録。工作のコツも紹介する。立体展開図集第3弾。

当て字。当て読み漢字表現辞典 三省堂 81

運命(さだめ)、女性(ひと)、生命(いのち)、本気(まじ)など、普通の辞書には載らない漢字表現を、漫画・歌詞・テレビ・小説等から採録。表記のニュアンスや背景、文字史・表記史に基づく知識を、用例とともに解説する

チア男子!! 朝井 リョウ著 集英社 913.6

幼い頃から柔道に打ち込んできた大学1年の晴希は、怪我をきっかけに柔道部を退部。同じころ柔道をやめた一馬はある理由から、大学チアリーディング界初の男子のみのチーム結成を決意する。笑って泣ける長編スポーツ小説。

ふがない僕は空を見た 窪美澄著 新潮社 913.6

ずっと好きだったクラスメイトに告白されても、高校1年の斉藤卓巳の頭の中はコミケで出会った主婦・あんずのことでいっぱい。16歳のやりきれない思いは周りの人たちに波紋を広げ、彼らの生きかたまでも変えていく。

ホー カール ハイアセン著 理論社 933

中学生のロイはある日、裸足で走る不思議な少年に出会う。彼は建設現場のフクロウの巣を守ろうとして闘っていた。子どもたちと大人の闘いをユーモアたっぷりに描きだすYA文学。



図書館の本棚から

～新刊じゃないけど、ちょっと紹介～



6月の終わりから暑い日が続いています。今年の夏は電力不足が心配され、私達は一層の節電に努めなければなりません。

3月11日に起きた福島第一原発の事故は残念ですが現在収束していません。報道で現場の復旧作業のニュースを聞くにつけ、作業を行う方々や避難生活のご苦労を思うとともに、原子力発電所がどんなところで、原子力とはどんなエネルギーなのか知らなさすぎでは？と思います。そこで、書架にある本を紹介します。

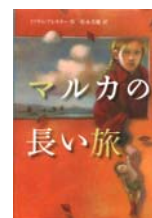
核の大地	広河 隆一著	講談社	543
いま、原子力を問う	NHK取材班著	日本放送出版協会	543
Q&A原発	中島 篤之助著	新日本出版社	543
核はほんとうに安全か？	伊東 壮著	ポプラ社	539
考えてみませんかエネルギーと原子力		テレメディア	543
原子力その不安と希望	岸本 康編	講談社	539
原発はなぜこわいか	勝又 進絵	高校生文化研究会	543
東京に原発を！（文庫）	広瀬 隆著	集英社	543
《新書》			
原発事故を問う	七沢 潔著	岩波書店	543
原発を考える50話	西尾 漢著	岩波書店	543
チェルノブイリから広島へ	広河 隆一著	岩波書店	543
これが原発だ	樋口 健二著	岩波書店	543
《ブックレット》			
チェルノブイリから何を学んだか	佐藤 幸男著	岩波書店	543
臨界事故隠されてきた深層	原子力資料情報室	岩波書店	539
今こそ、エネルギーシフト	飯田 哲也著	岩波書店	543
原発と日本の未来	吉岡 斉著	岩波書店	543
検証東電原発トラブル隠し	原子力資料情報室	岩波書店	543

もんじゅ事故の行きつく先は？	高木 仁三郎著	岩波書店	543
原発そこが知りたい	安斎 育郎著	かもがわ出版	543
茶の間に語りあう原発と放射能	安斎 育郎著	かもがわ出版	543
恐怖の臨界事故	原子力資料情報室	岩波書店	539

青少年読書感想文コンクール課題図書

『マルカの長い旅』 ミリヤム・プレスラー著

徳間書房 943



7歳の秋、私が熱を出して寝ているあいだに、お母さんはいなくなった…。第二次大戦下のポーランドを舞台に、見知らぬ場所に取り残され、ひとり生き抜く少女マルカと、娘を取り戻そうと闘う母の、心にずしりと響く物語。

『野川』 長野 まゆみ著

河出書房新社 913.6



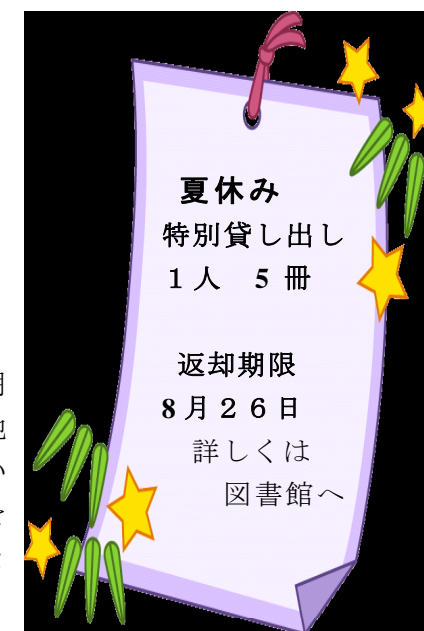
野川の近くで、父との2人暮らしをはじめた音和は、新しい中学校で新聞部に入り、伝書鳩を育てる仲間たちと出逢う。そこで変わり者の教師の言葉に刺激され、鳥の目で見た世界を意識するようになり…。『文芸』掲載を単行本化。

『光が照らす未来』

石井幹子著 岩波書店
545



東京タワーや明石海峡大橋のライトアップで知られる照明デザイナーが、学生時代や各地でのプロジェクトなど、新しい世界を切り拓いてきた道のりをたどり、照明デザインの魅力とその可能性を語る。



夏休み
特別貸し出し
1人 5冊

返却期限
8月26日
詳しくは
図書館へ